

令和6年度 学校評価総括表【Ⅱ】

香芝市立真美ヶ丘東小学校

| 教育活動 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題(評価の分析) | 次年度への課題と改善策等 | |
|--------|---|----|--|---|--|
| 特別活動 | ① 特別活動の全体計画及び各活動・学校行事の計画を作成し、活用している。 | B | 年間計画を作成し、楽しく過ごしやすい学校生活を旨として取り組んでいるが、特別活動の時間を十分に確保することができていない。 | 年度当初の研修をもとに、各学級で取組を進めた。来年度は、より具体的な年間指導計画の作成と学級会のさらなる促進を促し、系統的な話し合い活動に取り組めるようにしていきたい。 | 子どもたちの主体性を育むうえで、大切な教育活動だと考える。様々な活動を通して、豊かな学びを実現してほしい。 |
| | ② 学級生活の充実・向上や生活上の諸問題の解決に向けて、話し合い活動に取り組んでいる。 | B | | | |
| 人権教育 | ① 児童や地域の実態を踏まえ、「人権教育推進プラン」に基づいて人権教育推進計画を作成し、重点教材を中心に指導している。 | B | 各学年の実態から重点課題を定め、一人一人を大切に育てる取組を進めている。今年度は夏休みに教材や計画のみをおこなった。 | 今年度は各学年の計画を見直すことができ、より実態に即した計画を立てて、進めることができた。11月におこなった人権の授業参観・教育講演会では、各学年で保護者とともにそれぞれの人権テーマに基づいて話し合うことができた。 | 児童の人権意識の醸成のためには、学校における人権教育に加え、今年度取り組んだ教育講演会などが必要だと感じる。 |
| | ② すべての児童が、違いを認め合い、互いを尊重し合う人間関係を築くための取組を行っている。 | A | | | |
| 特別支援教育 | ① 保護者の願いを大切にしながら、児童一人一人に合わせた指導計画を作成し、指導している。 | A | 個別の指導計画、すまいるノートを作成し、個に合った支援・指導と、交流計画など「障がい」(児)者理解の二面から推進している。 | 特別支援学級に在籍する児童や、在籍しないが支援の必要な児童に対して、共通理解をもった。今年度は様々な教員が関わり、さらなる共通理解の必要性を感じた。支援体制・指導内容が児童の発達や保護者の願いに沿ったものになっているかを定期的に点検し、教育課程や支援の仕方に引き続き反映させていく。 | 児童一人ひとりのニーズを適切に把握し、必要な支援を行うべく、今後も十分な共通理解のもと、進めてほしい。 |
| | ② 教職員が正しく理解して、特別支援教育を進められるように研修をおこなったり、体制を作ったりしている。 | A | | | |
| キャリア教育 | ① キャリア教育の全体計画を作成している。 | B | 本校の人権教育推進計画に基づいて各学年で人権に関わる授業をおこなった。保護者向けの教育講演会では性教育について話し合いをおこなった。 | キャリア教育の全体計画に基づき、各学年で指導を行っているが、学校全体を見通した計画に改善していく必要がある。より児童の実態に合致した計画立案をし、キャリアパスポートの取組とも関係づけながら実践をしていく必要がある。 | 様々な分野のゲストティーチャーを招聘して実施している体験学習は、児童らの職業観の育成に寄与していると考えられる。 |
| | ② 夢や目標をもつなど、児童のキャリア発達につながる体験的な活動やゲストティーチャーによる講話などを計画し、実施している。 | B | | | |
| 健康安全 | ① 学校保健・安全計画を作成している。 | A | 前年度の総括をもとに計画を立て、4月に職員共通理解を図った。 学年に応じた保健の学習や性教育等を計画的に行った。 学年で指導以外にも、身体測定時間を利用して、養護教諭が系統的に、学年に応じた内容を指導した。 毎学期に災害の避難に分けて、マニュアルを基にした避難訓練を実施した。今年度は日時非公開のより実践的な訓練をおこなった。 たてわり掃除や異学年での清掃活動を取り入れた。キッズサポーターの活動(児童のボランティア活動)として、運動場の美化作業を実施した。 | 生徒指導主任・養護教諭・保健主事を中心に、教職員全体で共通理解をはかりながら、引き続き、健康安全に取り組んでいく。外部人材も積極的に活用しながら、日々変化する社会状況に合わせた具体的な取組を進める必要がある。来年度は、大規模地震に対応するための児童引き渡し訓練を実施する予定である。また、掃除方法についても総括を受けて見直しをおこなった。 | 今年度は、自治会主催の防災訓練に、多数の児童や保護者の方々が参加してくれた。学校教育と地域の活動を往々に推進することで、より高い防災・防犯の意識を高めることができると考える。 |
| | ② 薬物乱用や喫煙の防止、性教育等に関する指導を行っている。 | B | | | |
| | ③ 健康相談、保健指導を適切に行っている。 | A | | | |
| | ④ 避難訓練や交通安全教室、生活安全教室等の取組を計画・実施している。 | B | | | |
| | ⑤ 校舎、校庭等の環境美化や清掃活動に力を入れている。 | B | | | |
| 食育 | ① 児童の食生活の実態を踏まえた食育推進のための計画を作成し、具体的な取組を行っている。 | A | 食に関する指導の年間計画をもとに、各教科や給食指導、特別活動と連携して取組を進めた。 「元氣もりもりカード」や、給食だより、給食試食会、動画、給食の栄養教諭による巡回指導などを通して、児童・保護者への食への関心を高めた。 | 「元氣もりもりカード」等を活用し、自分の食生活などを振り返る機会をもたせることができ、さらに児童の実態把握にも役立った。また、栄養教諭の給食時間の巡回指導や、掲示、食に関する授業、動画視聴などを活用して、児童の食への関心を高めることができたので、継続して取組を続けていく。 | 香芝の郷土料理が給食に取り入れられているのはよいことである。冬彩で振る舞われた「香し汁」など、レシピを教えるなど、食への関心をより高められるのではないかと。 |
| | ② 児童・保護者の食に関する意識を高める取組を行っている。 | A | | | |
| 読書活動 | ① 全校一斉の読書活動や読み聞かせ、図書館だよりなど、読書活動を推進する取組を行っている。 | A | 全校一斉の読書が中心で、落ちこぼれ読書活動に取り組んでいた。図書委員、図書ボランティアの読み聞かせや図書館だより、家読だよりなどで積極的に推進した。 各教科の調べ学習等、時間を割き活用して効果よく図書室を活用できた。また、高学年の使用促進のために朝の時間を割り当てたこともあった。 | 図書委員や図書ボランティアの方々の様々な活動により児童の読書意欲の向上につながっている。目標の年間2500冊を達成することができた。来年度は、高学年を中心に、さらに図書室使用の頻度を高めていきたい。また、新聞も配置され、読む児童も目見られるようになり、児童の興味関心に役立てていく。 | 読書活動は、本校の特色ある取組だと思われ、学校だけでなく、家庭においても読書をする子どもを育てることができれば、なお良い。 |
| | ② 学校図書館が読書活動や教科指導等において有効に活用されている。 | A | | | |
| 体力向上 | ① 児童の体力の実態を分析し、全教職員で課題を明確にし、年間指導計画を作成している。 | A | 体力テストや体育の時間の児童の様子から、課題を見出し、職員間で共通理解を図ることができた。 児童の実態や本校の実情も考慮した上で指導計画を作成し、計画に沿って取り組んだ。みんなが楽しめるような授業作りをおこなうためには、さらなる研修が必要である。 かけ足や縄跳びに取り組む時間を設けて、その成果を発揮する場を設定することができた。体力向上を担当する校務分掌を作り、より具体的な取組につなげていく。 | 体力テストの結果や日常の体育の授業をもとに児童の課題を把握している。全体的に運動が苦手な児童が多く、全国平均と比べても低い項目が多い。課題解決に向けての学校全体の取組には改善の余地があり、学校全体で共通理解をもった、授業づくりや体力向上についての取組を進めていきたい。来年度は体力向上を担当する校務分掌を中心に計画を立てて進めていきたい。また、今年度の総括をもとに来年度に向けた年間指導計画の見直しをおこなう。 | 運動する子とそうでない子が二極化しているという話を聞く中で、学校教育の中で、意図的に運動する機会を確保することは大きな意味をもつと考える。 |
| | ② 年間指導計画に基づき、みんなが楽しめる体育の授業を計画的に行っている。 | B | | | |
| | ③ 体育的行事や休み時間など、体育科の授業以外で、課題解決に向けた具体的な取組を計画して取り組んでいる。 | B | | | |
| 地域連携 | ① 地域住民や保護者と連携・協働して、課題解決に向けて取り組んでいる。 | B | 学校運営協議会の中で本校の課題を明らかにし、重点的に取り組む内容について熟慮したが、さらなる連携・協働が必要と思われる。 | 学校とより通じて学校の取組や児童の様子を、幅広く発信した。また、掲示板やホームページも活用し、一般地域住民の方々の目にも触れられるよう今後も進め、本校の課題改善に向けても取組を進めていく。 | 地域と学校の協働について、知らない人が依然として多い。より積極的な発信が必要である。 |
| 危機管理 | ① 公文書や個人情報の管理や保護を適切に行っている。 | A | 個人情報の管理・徹底を図り、管理職が点検・確認を行っている。各種鍵の保管と金庫の管理について徹底することができた。 緊急時の対応についてマニュアルに沿って避難訓練を行うこと、児童や教職員に知らせないよう実践的な訓練をおこなうことができた。 職員研修において、生活管理の共通理解を図るとともに、緊急時の指導体制や対応について具体的な事例をもとに訓練を行った。 | あらゆる危機を想定し、危機管理マニュアルの周知と改善を今後も継続していく。児童の避難訓練や職員研修についても、より具体的な状況設定のもとに行うことで、実用性を高めていきたい。今年度は、児童や教職員に知らせないよう実践的な訓練をおこなった。夏休み中に職員の不審者訓練研修をおこなうことができた。危機管理意識の向上に努めることができた。 | あらかじめ日時を知らずに実施した避難訓練されたのは良いことだと思う。いつ起こるか分からない災害への備え、防災意識の強化について、今後も継続的に取り組んでいきたい。 |
| | ② 危機管理マニュアルを作成し、共通理解している。 | B | | | |
| | ③ 食物アレルギー等を有する児童生徒に対して、指導体制や緊急対応の体制を整えている。 | A | | | |
| 学校評価 | ① 学校評価委員会等を設置し開催している。 | A | 12月末に各分掌の主任、教務、教諭、校長が集まり、学校評価委員会を開催した。主任の立場から建設的な意見が多く提案された。 各校務分掌において、目標や計画を提案する際、評価項目も検討するよう変更した。そのことで、目標と評価項目に向けた活発な話し合いにつながった。また、今年度は目標や計画を立てる時に、評価項目についても話し合うことができたことで、目標と評価を連携させて考えることができた。児童、教職員、保護者に加えて、学校運営協議会の方々による授業参観や学校行事への参加をすすめて、より幅広い外部評価を行った。また、アンケート形式による評価だけでなく、意見交換をおこなう場を設け、様々な角度からの感想や意見を収集し、学校評価を生かした次年度に向けた提案をおこなった。 学校運営協議会の中で周知を図るとともに、学校HPにアップしている。 | 各校務分掌の主任が集まり、学校評価委員会を開催した。主任の立場から結果を分析し、建設的な多様な意見が出てきたことで、それぞれの分掌で次年度に向けた目標や計画を立てる時に、評価項目についても話し合うことができたことで、目標と評価を連携させて考えることができた。児童、教職員、保護者に加えて、学校運営協議会の方々による授業参観や学校行事への参加をすすめて、より幅広い外部評価を行った。また、アンケート形式による評価だけでなく、意見交換をおこなう場を設け、様々な角度からの感想や意見を収集し、学校評価を生かした次年度に向けた提案をおこなった。 学校運営協議会の中で周知を図るとともに、学校HPにアップしている。 | より深い分析は大切であると考えられる。それに留まらず、次年度に生かすための、いわゆるPDCAサイクルが機能しているのかについてもチェックしなければならない。外部評価をってもらうには、学校での取組をしっかり発信しなければ、正確に反映されないことも起こり得るので、それらもあわせて検討してもらいたい。 |
| | ② 本年度の重点目標等の達成に向けた具体的な目標や取組を評価項目として設定している。 | A | | | |
| | ③ 児童生徒や保護者等を対象としたアンケート(授業評価を含む)を自己評価に適切に活用している。 | A | | | |
| | ④ 保護者を含めた学校関係者評価委員会を設置し開催して、学校関係者評価を実施している。 | B | | | |
| | ⑤ 学校評価を基に、学校改善が進んでいる。 | B | | | |
| | ⑥ 保護者や地域住民等に自己評価や学校関係者評価の結果を公表している。 | A | | | |
| 研修・研究 | ① 学校や学級の課題を明確にし、研究主題を追求している。 | A | 研究主題「主体性を育む授業展開を目指して～からの考えをもち、共有する学習を通して」として、研究を進めた。研修やMTGを通して、研究の方向性を共有し、学校全体で取り組むことができた。 すべての学年で、教科と人権教育の研究授業や実践報告を実施した。また、自主的に授業を見合う機会も設けた。研修では、各学年で単元計画を話し合うことができた。 研究主題につながる園路の研修や、MYTAM(日々実践の報告)を実施した。次年度はさらなる研修の充実を図りたい。 | 「主体性を育む授業展開を目指して」をテーマに5年間研究を進め、児童が主体的に学ぶ姿を目指して、授業づくりを工夫した。今年度は「自らの考えをもち、共有すること」に焦点を絞り、各学年で系統的に指導することができた。また、研修で学年共通の指導計画を練ることもでき、より具体的な実践的な取組を進めることができた。来年度は理科での計画にこれまでの研究成果を生かしていきたい。 | これまで取り組んできたことを次のテーマや取組に生かすことを忘れてもらいたくない。研究を通して、どのような力をつけていくのかをしっかりと見据えながら取組を進めてもらいたい。 |
| | ② 全ての学年で授業研究を計画・実施し、情報共有を適宜おこない、授業改善に全校体制で取り組んでいる。 | B | | | |
| | ③ 今日の教育課題や学校の課題に即した研修を計画・実施している。 | B | | | |

※評価はA・B・C・Dの4段階